

会員拡大交流委員会事業計画

会員拡大交流委員会 委員長 太田 海音

近年は入会から卒業までの在籍年数の短いメンバーが増加し、事業を通しての地域貢献や、それに伴うつながりを上手く伝播できておらず、会員拡大に対する意識が低下しています。一方で、今後5年以上在籍するメンバーも多く残っており、今後の地域発展を支える人材を多く輩出できる状態にあります。より良い事業を作り、地域の発展に尽力していくには、メンバーがLOMの魅力を共有し、持続可能な会員拡大運動をしていく必要があります。

まずは、LOMの活動目的の統一、魅力の共有をしていくために、各委員会で会員拡大に関するテーマに沿って議論し、建設的な意見を交換するとともに、集約した内容をメンバーへ周知する拡大会議を行い、会員拡大への当事者意識を持ちLOMについて自分の言葉で説明できる人財になります。そして、拡大候補者との交流を深めていただくために、仮会員の委員会配属を行い、つながりの大切さ、仲間作りの楽しさを実感していただきます。さらに、より多くの拡大候補者にLOMの魅力を伝播をしていくために、候補者の情報収集や、精査をし、適時においてニーズに合った交流会を設えることで、まだ見ぬ仲間たちの入会につなげます。また、人と人のつながりを深めるために、地域を巻き込んだ交流事業を行い、メンバーが地域の魅力を再認識するとともに、LOMの魅力の共有、認知につなげます。そして、LOMを長年にわたり支え、地域の発展へ、尽くしていただいた卒業生の熱い想いを在籍メンバーにつないでいただくために、卒業までに走り抜けてきたJC生活への熱い情熱を伝え残していただくことで、今後残っていくメンバーの未来への活動意欲が向上します。

所属しているメンバー全員がLOMとしての目標を共有し一人ひとりが自発的に会員拡大を行い、持続的な会員拡大運動が確立され、新たな地域経済の担い手を迎えた魅力的な組織がより強固となり、地域に対し、より洗練された事業を展開していくLOMを実現いたします。

〈事業計画〉

1. 全員で行う魅力溢れる会員拡大の確立
2. 人の和を繋ぐ事業の実施
3. 事業で魅せる会員拡大
4. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力
5. 関東地区栃木大会の成功に向けて協力